

核兵器のない世界をめざして ~NPT再検討会議代表派遣~

2015年4月27日(月)からニューヨークでNPT再検討会議が開催されました。NPT再検討会議は、核兵器廃絶に向けて5年に1度開催される会議です。そこで、全世界に向けて被爆の実相や核兵器廃絶に向けた願いを発信するために、日本被団協と日本生協連は合同代表団を結成し、合計139名でニューヨークへ出発。パルコープからは組合員理事の原田さんと事務局職員1名が生協代表団の一員として参加しました。

2014年9月よりとりくんだ『核兵器禁止条約の交渉開始等を求める要請書』の署名活動。2015年4月までに、パルコープでは40,592筆が集まり、国連本部に届けられています。ご協力、本当にありがとうございました!!(全国の生協から集まった署名の総数は109万7,059筆)



活動を共にしたメンバー(生協代表団と被団協代表団の合同団結式にて)

4月26日

思い思いのメッセージを胸に!! 平和パレード、平和フェスティバルに参加しました



よどがわ市民生協さんが作った横断幕を持って行進しました

平和パレードでは、生協の代表団も被爆者の方々とともに、3番街を行進。パレードの列は1km以上の長さ!!各生協が日本から準備してきた横断幕や折鶴などをもち、核兵器廃絶の想いをアピールしました。

4月28日

ホワイトブレイズ高校での証言活動。生徒さんたちは熱心に耳を傾けていました



多くの生徒さんが、パルコープから持ってきた平和の寄せ書きにメッセージを書いてくれました!!

ホワイトブレイズ高校で証言活動を行い、歴史授業の一環で活動に参加された生徒さんは約100名となりました。生徒さんからは被爆者に対する温かい励ましや感謝の言葉もあり、16歳の生徒さんからは、「教科書だけでは学べない、生の被爆者の声が聞けてよかった。本当に感激した。世界平和のために頑張ります」との意見をいただきました。

代表団としての参加を終えて

被爆者の方々と共に過ごした6日間で、被爆の実相に触れることができたのは私自身かもしれません。ホワイトブレイズ高校で児玉さんは「被爆の被害は過去のことではなく、明日・未来のことです。もし核兵器が意図的であれ、偶発的であれ再び使用する事があれば、世界の子どもたちの未来に甚大な被害をもたらす」と証言されました。今回の会議でどんな道筋になるのか、どのような結果になるにせよ、2020年までにできることを続けなければと思います。引き継ぐ者の責任として。(原田さん)

4月27日

原爆展での証言活動で、戦争に対する熱い気持ちを伝えました(国連本部ロビーにて)



証言をする被爆者の児玉さん(左)と眞田さん(右)。「今まで来ることが出来なかったということ、これが自分にとっては最後になるかもしれない」という思いがひしひしと伝わってきました。



来場者のみなさんと折鶴で交流しました

4月29日

児玉さん・眞田さんのお話に涙する来場者も…(国連本部ロビーでの証言活動にて)



原爆展でのパネルを前に、証言活動を再び行いました。立ち止まり、話の輪の中に入ってこられる来場者も。児玉さん・眞田さんのお話を聞き、中には涙する方もいらっしゃいました。

その後、マレーシア国連代表要請行動にも参加。核兵器廃絶のための要請文をマレーシア国連代表代理にお渡ししました。



組合員さんからお預かりしている「平和募金」は約436万円集まり(5月末現在)、今回の代表派遣や地域の平和活動に使います。

まだまだ募集しています! 締め切り延長! 7月6日(月)まで

旅行企画 東北応援ツアー

出発日 9月7日(月)~9月9日(水) 旅行代金 大人お一人様 77,000円(税込)

★スケジュールなどはHP http://www.palcoop.or.jp/pal_news/information/post_220.html 「東北応援ツアー」のお申し込み・お問い合わせはコープツアーデスク(名鉄観光内)まで ☎0120-336-922 携帯電話からは☎06-6311-6662 受付時間/ 10:00~17:00(月~金/土日祝は休み)

あなたの旅が復興につながります



今回は久々にバス3台での運行となり、それぞれ分かれて活動しました。1号車は陸前高田市上長部の郷で蕎麦の種まきなど、2号車は大槌町・ハーブの郷で土入れなど、3号車は大船渡市や遠野市で防災センターの視察などを行いました。

パル・よどがわなら組合員さんの

2015年度 第2回 東北応援バス報告

(5月3日~6日) 78名参加



伝承館で「箱根山こども祭」餅まきのような

なにもわずかな作業で心苦しさを感ずる機会がありました。2日目の伝承館のお祭りでは、食の「まかない」手伝いを大阪のおばちゃんパワーとチームワークで乗り切り、喜んでくれたことを実感。お役にたてて良かったです。3生協合同開催の東北応援バスでしたが、最初から垣根無く交流できてよかったです。

(陸前高田市で活動) 平野区 N.Hさん

語り部さんのお話で「人のこととして聞くのではなく、自分のこととして聞く」。私は大事なことを言われたように思います。大槌町でボロボロになった町役場を見ました。大槌町では町長さんも亡くなって、多くの人が亡くなったと聞きました。避難場所とどこに行けばいいかとか、私はまだ中学になったばかりでまだ避難訓練はしていませんが、今度する時には、先生の話をよく聞き、日ごろからちゃんと訓練し、もしもの時にちゃんとしようと思えました。(大槌町で活動) 東住吉区 江原さん 12歳

ずっとボラの会(東北応援バス参加者の有志の会)よりお知らせ!

<今後の予定> ぜひ、お立ち寄りくださいね。

日程	会場
7月5日(日)	つるみ店
8月2日(日)	枚方公園店

時間は10時~15時です。

パルコープの店舗一覧はこちら。
<http://www.palcoop.or.jp/shopping/shop/index.html>

店頭で東北グッズ販売と募金活動などを行いました。
◎東中浜店(5月3日) 売上げ57,140円と募金2,080円
◎榎本ふれあいまつり(5月31日) 売上げ43,990円と募金2,099円

遠野通信 NO.66

被災者に寄り添い、絆をつなげる支援活動を

今、被災地はハード面の復興(嵩上げ工事や防潮堤・復興公営住宅の建設など)が目に見える形で進んでいます。一方、今年度で復興集中期間(5年間)が終える中、これからの国の復興予算がどうなるかという不安が被災市町村から出されています。被災者の医療や介護の免除制度や復興公営住宅めした独居高齢者の見守り、コミュニティづくりの支援など、暮らしや生業・地域づくりのソフト面の復興はこれからが本番です。

そのもとで生協の「たすけあいの会や子育て支援活動」など組合員活動のすばらしさを発言された総代さん、そしてそのことを「学び・考え・伝えるという仲間づくり」や「街づくり、地域活動という視点も…」という更に進める発言がありました。今年もパルコープ総代会から元気をもらい、東北復興に共助の必要性を教えてくださいました。

(岩手県遠野市に常駐するパルコープボランティア事務局・林さんより)

よどがわ生協・ならコープ合同企画

第4回「東北応援バス」参加者募集

お1人でもご家族でも

【日程】8月21日(金)~24日(月)

【申込締切】7月24日(金)

【募集定員】60名(定員は3生協合計の人数です)

今までに参加された方も、申し込みを受付ています。定員を超えた場合は抽選となります(初めての方が優先です)。

【参加費】中学生以上 お1人 12,700円
小学5・6年生 お1人 9,700円
※小学生はかならず保護者同伴でご参加ください

【行程】3泊4日(車中2泊)・大型観光バスで行きます

1日目 パルコープ本部(京橋)集合(18時予定)バスで移動、車中泊
2日目 岩手9時頃着、ボランティア活動、被災地視察(夜は宿舎泊)
3日目 ボランティア活動 (バスで帰阪、車中泊)
4日目 パルコープ本部前到着(9時頃予定)

【参加条件】組合員さん、及びその家族で安全上、小学校5年生以上の方。複数名参加可。
*活動内容と場所は、現地での要請に基づきます
*持ち物などの詳細は別途、参加者にご案内します
*宿舎は男女別・相部屋です
*参加費には、ボランティア保険・宿泊費などを含みます
*天候不順などにより中止になる場合があります

【申し込み・問い合わせ】パルコープ組合員活動部 ☎06-6242-0904 (月~土 9時15分~18時)

ご協力ありがとうございます

東北支援募金の状況(2015年3月21日~2015年5月20日)

11,217,927円 (この金額には2014年度繰越金・注文書での募金・店舗などに設置の募金箱・ずっとボラの会での物販などを含みます)

※ ボランティア活動報告はホームページにも掲載しています。http://www.yodogawa.coop/info/info/shinsai